



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月26日

上場会社名 クニミネ工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5388 URL <https://www.kunimine.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勢藤 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 長坂 裕樹 (TEL) 03(3866)7256
四半期報告書提出予定日 2024年2月2日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,669	2.7	839	69.0	1,145	14.8	779	32.9
2023年3月期第3四半期	11,358	0.4	496	△63.3	997	△33.4	586	△41.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,037百万円(2.9%) 2023年3月期第3四半期 1,008百万円(△12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	62.45	—
2023年3月期第3四半期	45.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,899	21,700	84.4
2023年3月期	24,560	21,349	84.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 21,018百万円 2023年3月期 20,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 創立80周年記念配当 10円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	9.0	1,600	93.1	1,800	31.0	1,200	42.4	96.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	14,450,000株	2023年3月期	14,450,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,971,405株	2023年3月期	1,971,395株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	12,478,603株	2023年3月期3Q	12,790,035株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 1
(1) 経営成績に関する説明	P 1
(2) 財政状態に関する説明	P 1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する関係)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、供給制約の緩和を受けた自動車生産の回復、高水準な企業収益を背景とした底堅い国内設備投資需要、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスでの個人消費の回復など、総じて緩やかな回復が継続しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、不動産市場の低迷を受けた中国経済の減速や、中東情勢の緊迫化、欧米での金融引き締めに伴う影響など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げている人的投資（教育＋待遇）を強化して、未来のニーズを創造、より付加価値の高い製品、サービスを提供する事で、収益確保に向けて注力して参りました。今後も、円安・インフレの進行とエネルギー価格高止まりによるコスト上昇が懸念され、予断を許さない状況が続いておりますが、中期経営計画の達成に向け、引き続き機動的な価格戦略、原価低減と製品・サービスの高付加価値化による収益の改善に取り組んで参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が11,669百万円(前年同期比 2.7%増)、営業利益は839百万円(同 69.0%増)となりました。経常利益は1,145百万円(同 14.8%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は779百万円(同 32.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ベントナイト事業

素形材分野は、昨年度から引き続き取り組んでいる価格改定の効果により、大幅な増収となりました。環境建設分野は、復興関連事業の需要が一服したこと等により、減収となりました。ペット分野は、PB品の需要が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8,756百万円(前年同期比 6.1%増)、セグメント利益は1,122百万円(同 196.3%増)となりました。

② クレイサイエンス事業 ファインケミカル分野

クニピアの一般工業用途としての輸出向けの需要が減少した事に加え、製造原価が上昇したことにより、大幅な減収減益となりました。

この結果、当分野の売上高は960百万円(前年同期比 6.3%減)、営業損失は20百万円(前年同期は営業利益107百万円)となりました。

③ クレイサイエンス事業 アグリビジネス分野

農薬受託加工において、主に水稲用除草剤の需要が減少した事に加え、製造原価が上昇したことにより、大幅な減収減益となりました。

この結果、当分野の売上高は1,753百万円(前年同期比 8.4%減)、営業利益は140百万円(同59.2%減)となりました。

④ クレイサイエンス事業 ライフサイエンス分野

2022年3月より販売を開始した赤潮防除剤の需要が増加し、増収増益となりました。

この結果、当分野の売上高は199百万円(前年同期比 18.2%増)、営業損失は4百万円(前年同期は営業損失25百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ339百万円増加し、24,899百万円となりました。これは主に売却により有価証券が748百万円減少したものの、現金及び預金が246百万円、受取手形及び売掛金が312百万円、原材料及び貯蔵品が271百万円、固定資産が245百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、3,199百万円となりました。これは主に未払金が180百万円増加したものの、未払法人税等が173百万円、賞与引当金が65百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ351百万円増加し、21,700百万円となりました。これは主に利益剰余金が92百万円、為替換算調整勘定が162百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられますが、当第3四半期における業績は概ね計画通り推移していることから、通期業績予想につきまして、現時点におきましては前回発表(2023年5月12日)からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,542,310	7,789,194
受取手形及び売掛金	4,501,078	4,813,624
有価証券	748,267	—
商品及び製品	688,357	759,324
仕掛品	488,403	582,036
原材料及び貯蔵品	2,249,402	2,520,821
その他	192,355	39,185
貸倒引当金	△59	△68
流動資産合計	16,410,115	16,504,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,878,454	1,831,579
機械装置及び運搬具（純額）	1,720,566	1,806,807
土地	1,874,629	1,875,029
リース資産（純額）	87,715	71,753
建設仮勘定	158,983	122,856
その他（純額）	128,967	123,710
有形固定資産合計	5,849,317	5,831,736
無形固定資産	80,092	186,104
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,220,623	2,378,924
貸倒引当金	—	△1,584
投資その他の資産合計	2,220,623	2,377,340
固定資産合計	8,150,034	8,395,181
資産合計	24,560,149	24,899,300
負債の部		
流動負債		
買掛金	894,401	902,304
リース債務	32,747	31,474
未払金	569,629	749,784
未払法人税等	307,235	133,430
賞与引当金	148,166	82,768
その他	97,170	118,739
流動負債合計	2,049,349	2,018,501
固定負債		
リース債務	63,641	50,884
繰延税金負債	10,850	22,499
退職給付に係る負債	14,547	15,991
閉山費用引当金	601,452	616,167
資産除去債務	23,494	23,494
その他	447,638	451,498
固定負債合計	1,161,625	1,180,536
負債合計	3,210,975	3,199,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	3,672,201	3,672,201
利益剰余金	16,635,132	16,728,059
自己株式	△1,752,478	△1,752,488
株主資本合計	20,172,655	20,265,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	357,908	364,513
繰延ヘッジ損益	—	△2,234
為替換算調整勘定	227,878	390,237
その他の包括利益累計額合計	585,787	752,516
非支配株主持分	590,731	682,172
純資産合計	21,349,173	21,700,262
負債純資産合計	24,560,149	24,899,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	11,358,911	11,669,828
売上原価	8,567,001	8,384,720
売上総利益	2,791,909	3,285,108
販売費及び一般管理費	2,295,294	2,445,787
営業利益	496,615	839,320
営業外収益		
受取利息	25,571	26,655
受取配当金	152,315	84,685
有価証券売却益	257,750	121,973
為替差益	94,033	50,458
退職給付引当金戻入額	135	—
その他	17,276	30,535
営業外収益合計	547,082	314,308
営業外費用		
支払利息	2,085	2,884
コミットメントフィー	1,886	1,886
超過保管料	36,931	—
仕損費	3,206	3,378
その他	2,481	451
営業外費用合計	46,590	8,601
経常利益	997,107	1,145,026
特別利益		
固定資産売却益	7,156	9,677
特別利益合計	7,156	9,677
特別損失		
固定資産除却損	9,271	11,515
災害による損失	1,200	—
訴訟和解金	6,000	—
特別損失合計	16,471	11,515
税金等調整前四半期純利益	987,793	1,143,189
法人税、住民税及び事業税	313,901	311,249
法人税等調整額	44,998	31,702
法人税等合計	358,900	342,951
四半期純利益	628,892	800,237
非支配株主に帰属する四半期純利益	42,494	20,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	586,397	779,250

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	628,892	800,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,057	6,605
繰延ヘッジ損益	△5,709	△2,234
為替換算調整勘定	382,305	232,812
その他の包括利益合計	379,653	237,183
四半期包括利益	1,008,546	1,037,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	851,856	945,980
非支配株主に係る四半期包括利益	156,689	91,440

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
減価償却費	619,193千円	643,906千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベント ナイト事業	クレイサイエン ス事業	合計		
売上高					
素形材	4,755,611	—	4,755,611	—	4,755,611
環境建設	2,800,171	—	2,800,171	—	2,800,171
ペット	695,605	—	695,605	—	695,605
ファインケミカル	—	1,024,517	1,024,517	—	1,024,517
アグリビジネス	—	1,914,216	1,914,216	—	1,914,216
ライフサイエンス	—	168,788	168,788	—	168,788
顧客との契約から生じる 収益	8,251,388	3,107,522	11,358,911	—	11,358,911
外部顧客への売上高	8,251,388	3,107,522	11,358,911	—	11,358,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,411	67,925	135,337	△135,337	—
計	8,318,799	3,175,448	11,494,248	△135,337	11,358,911
セグメント利益	378,875	426,357	805,232	△308,617	496,615

(注) 1. セグメント利益の調整額△308,617千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 △418,118千円及び棚卸資産の調整額109,501千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. クレイサイエンス事業のセグメント損益426,357千円の内訳は、ファインケミカル分野が107,492千円、アグリビジネス分野が344,841千円、ライフサイエンス分野が△25,977千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベント ナイト事業	クレイサイエン ス事業	合計		
売上高					
素形材	5,375,094	—	5,375,094	—	5,375,094
環境建設	2,606,211	—	2,606,211	—	2,606,211
ペット	775,444	—	775,444	—	775,444
ファインケミカル	—	960,037	960,037	—	960,037
アグリビジネス	—	1,753,550	1,753,550	—	1,753,550
ライフサイエンス	—	199,490	199,490	—	199,490
顧客との契約から生じる 収益	8,756,750	2,913,078	11,669,828	—	11,669,828
外部顧客への売上高	8,756,750	2,913,078	11,669,828	—	11,669,828
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,480	73,595	146,076	△146,076	—
計	8,829,230	2,986,674	11,815,904	△146,076	11,669,828
セグメント利益	1,122,573	116,147	1,238,721	△399,401	839,320

(注) 1. セグメント利益の調整額△399,401千円には、セグメント間取引消去△2,412千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△458,793千円及び棚卸資産の調整額61,804千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. クレイサイエンス事業のセグメント損益116,147千円の内訳は、ファインケミカル分野が△20,096千円、アグリビジネス分野が140,586千円、ライフサイエンス分野が△4,342千円であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社組織変更に伴い、報告セグメントを従来の「ベントナイト事業」、「アグリ事業」、「化成事業」の3区分の内、「アグリ事業」と「化成事業」を統合、「クレイサイエンス事業」にするとともに、「ベントナイト事業」の区分に属していたライフサイエンス分野は「クレイサイエンス事業」へ、所属する区分を変更しております。

併せて、「化成事業」で取り扱っていた化粧品用途向け精製ベントナイトはライフサイエンス分野へ取り扱いを変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の表示方法を変更しております。変更後の区分は下記のとおりであります。

新区分	新区分の主な製品およびサービス	旧区分
素形材	鋳物用ベントナイト	鋳物
環境建設	土木用ベントナイト、調泥剤、止水材	土木
ペット	ペット用トイレ砂等のベントナイト	ペット
ファインケミカル	精製ベントナイト、環境保全処理剤	化成
アグリビジネス	農薬加工、農薬基剤及び農薬加工原材料、農業資材等、土壌改良剤、農薬用途向け精製ベントナイト	アグリ
ライフサイエンス	化粧品用途向け精製ベントナイト、環境改良剤、飼料等	ライフサイエンス・化成

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分、分解した情報に基づき作成したものを開示しております。